



# やまゆり 10月



学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**

HP アドレス [www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/](http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/)

☆欠席連絡は、連絡帳かマチコミメール（朝 8:00 まで）、それ以降は電話をお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20 までの間です  
☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は 18時までをお願いします



## 鏡

副校長 田宮 真樹

早いもので今年度も6か月が過ぎ、秋を迎えてしまいました。秋は、私にとって大好きな季節です。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」など、何をすることも適していると思うからです。私はスポーツや食欲には多少の自信?がありますが、読書は、あまり好きではありませんでした。「読書の秋」といっても思い出に残る本は少なく、真先に思い出すのは、以前お世話になった先生が紹介してくれた詩です。

### 「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる  
褒めてあげれば、子どもは明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる  
親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを学ぶ  
子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもはやさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ

ドロシー・ロー・ノルト 「子どもが育つ魔法の言葉」より

保護者の皆様の中には、ご存知の方も多いことでしょう。初めて読んだ方は、はっとしたかもしれません。子どもは、いつも親の背中を見えています。ああしなさい、こうしなさいという親の言葉よりも、親のありのままの姿の方を子どもはよく覚えています。つまり、親の存在そのものが手本なのだと思います。

「子は親の鏡」というタイトルの詩ですが、「親」を「教師」に置き換えると、私もはっとします。週5日、1日6~7時間、ともに学校生活を送るわけですから、影響力も大きなものがあります。

10月7日で前期が終わります。子どもたちには担任からあゆみが手渡され、前期の振り返りをします。私たち教師も、学級経営や学年経営、学校経営を振り返らなければなりません。私自身も、子どもたちにとってよい鏡でいられるよう、今一度自分を見直し、後期も努力したいと思います。